



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第3号
令和6年11月13日

11月11日（月）に第3回学校運営協議会を開催し、学校運営等について協議しました。

〈校長挨拶〉

- ・全校合唱コンクールを、保護者を招いて実施することができた。また、12月に1年生は横浜方面、2年生は鎌倉方面への校外学習を予定しており、現在その準備を行っているところである。
- ・3年生は進路を決定していく時期となり、10月から校長面接を実施している。どの生徒も緊張しながらも一生懸命面接に臨んでおり、ぜひ希望する高校へ合格してほしい。
- ・地域の行事も活性化してきており、中学生のボランティア募集もたくさんきている。公民館の文化祭や小学校の体験講座など、中学生が地域で活躍する機会をいただき感謝している。

□ 四中について〈生徒と委員の協議〉

生徒会本部役員、専門委員長や部長の代表者と協議会委員が、学校と地域について懇談を行いました。生徒たちからは、中学生ならではの様々な意見が出ました。

〈生徒からの主な意見〉

- ・四中生は、部活動や学校行事、ボランティア活動などを頑張っている。
- ・何をすることも目標を持って努力している。合唱コンクールでもトラブルを乗り越えてクラスが団結し、達成感を味わうことができた。
- ・時事問題バトルに向けて、テレビのニュース、新聞を活用して勉強をしている。
- ・年2回行われるパフォーマンス・グランプリ（P-1グランプリ）をととても楽しみにしている
- ・みんなが楽しく参加できる文化祭のような行事があるとよい。
- ・障害のあるひとが過ごしやすくなるようにバリアフリー化を進めてほしい。



□ 学校運営について〈報告〉

- ・プレゼンテーション能力を高めるために、スライドで発表を行うP-1グランプリという企画を学年や学校で行っている。
- ・研究熱心な教員が多く、タブレットを活用する授業など工夫を重ねている。
- ・人権教育に力を入れており、人権チェックや講演会を行ってきた。今後は人権標語コンクールやイエローリボン運動などを実施する予定である。
- ・地域の文化祭や運動会などでボランティアに参加する生徒がとても多い。
- ・課題としては、落ち着かない生徒が見られるため、授業にきちんと取り組める環境を作っていく必要がある。また、SNSのトラブルもあったため、指導をしていきたい。
- ・部活動の地域移行を進めており、土日の活動を少しずつ地域指導者へ委託している。

〈委員からの主な意見〉

- ・地域の大人と中学生が触れ合える行事や機会があると良い。
- ・文化祭やひな祭りなどで多くの中学生のボランティアに来ていただきたい。
- ・中学生だけでなく地域の方々も公民館をぜひ活用してほしい。
- ・「地域のこどもは地域で育てる」 地域の力がこれからの教育には必要だ。



□ 教職員の任用に関する意見について〈協議〉

学校運営協議会として第四中学校に求める教職員について協議しました。協議内容をまとめ、「教職員の任用に関する意見書」を市川市に提出します。

和やかな雰囲気のもと、活発な意見交換が行われました。委員の皆様、ありがとうございました。次回の学校運営協議会は、2月3日（月）に行う予定です。